

特色

隣接型および分離型で小中一貫教育を進めています。

児童生徒理解を中心とした教職員の合同研修の実施や、子ども同士の交流活動を充実させ、中1ギャップの解消に努めています。

2024～2025 年度

国分寺中学校区実践研究
「学び合いを深める」

聴く・伝える・関わる力の育成」

4つの部会での取組を通し、学び合いを深める「聴く・伝える・関わる力」を育成します。

組織体制

推進部会

情報共有
助言

各学校の
学校運営
協議会

教務部会

事務部会

学習指導部会

◇学力向上チーム ◇ICT活用チーム

◇特別支援チーム

小学校・中学校で共通して「家庭学習協調週間」や「家読」を設定するなど、9年間の学びをつなぎ、揃えています。また、各校でタイピング力を育成しています。



小学生と中学生による
合同レクリエーション

児童・生徒指導部会

◇子ども未来プロジェクトチーム

◇児童生徒指導チーム

小学生や中学生の代表が「つながり」について具体的な取組を話し合ったり、朝のあいさつ運動や質問コーナーを設けたりして交流の場を広げています。



小中あいさつ運動

健康安全指導部会

◇体力向上チーム

◇健康・食育チーム

姿勢を正し、落ち着いた雰囲気の中で授業が始められるように立腰を実施しています。また、食育の指導や基礎体力の向上に向けた取組を工夫しています。

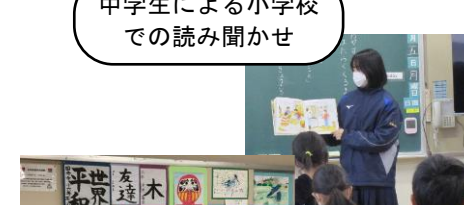


小学校での
食育の授業

地域連携部会

・読み聞かせ ・作品交流

作品交流など、児童生徒が同じ活動を実施することで、つながりを感じることができます。また、中学生は小学校の全クラスで本の読み聞かせを行っており、小学生は楽しみにしています。



作品交流

国分寺中学校区 小中一貫教育グランドデザイン

国分寺中学校区の目指す子ども像

- 学び合い高め合う子ども
- 主体的に人や社会に関わる子ども
- 心身共に健康で自分を大切にする子ども

・多様な意見を、自分なりに解釈しながら聴くことができる。
・わからないことなどを質問し、話し手の意図を理解することができる。

・どんな意見でも受容的な態度で聴くことができる。
・他の人の考えと、自分の考えを比べながら聴くことができる。

・大事なことを落とさずに聴くことができる。
・わからないことを、友だちに尋ねることができる。
・先生や友だちの顔を見て、反応しながら最後まで聴くことができる。
・聴いて、わかったこととわからないことを、区別できる。

聴く

・他の人の考えと、自分の考えとを関連付けて伝えることができる。

・自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
・時と場合に応じた言葉遣いをすることができる。
・自分の考えを明確にし、理由も交えて文章で伝えることができる。

・自分の考えをわかりやすく文章で伝えることができる。
・相手を意識した話し方ができる。

・自分の思ったことをすなおに話すことができる。
・聞きやすい声の大きさ、言葉で話そうとすることができる。

伝える

主に書く活動の中でタイピング力を育成します。

・時と場合に応じてコミュニケーションをとることができる。

・時と場合に応じたあいさつ、返事ができる。
・相手の気持ちや立場を考えて、自分の思いを伝えることができる。

・話を最後まで聴き、自分の思いを伝えることができる。

・自分から元気のよいあいさつ、返事ができる。

関わる

学びを深める	中3
	中2
学びを広げる	中1
	小6
	小5
学びの基礎をつくる	小4
	小3
	小2
	小1

児童生徒のようす

明朗で礼儀正しく、落ち着いた態度で学校生活を送っている。特に、学習に対する意欲が高く、学習課題について、協力し考えを深める姿勢が身に付いている。また、あいさつ運動や作品交流、中学生による小学校での読み聞かせなど、定期的に小中の交流を行うことで、相互の信頼感を高め、個々の自信や将来の意欲につながっている。

地域のようす

J R宇都宮線小金井駅を最寄りの駅とし、交通の要所である国道4号線を中心線として、東西に開けた自然豊かな地域である。また、旧来より日光街道の宿場町として栄え、下野国分寺跡や国分尼寺跡などの文化遺産を有する歴史と伝統ある地域である。保護者や地域住民は学校の教育活動に理解があり、協力的である。

【国分寺中】



隣接型

分離型

【国分寺小】



小小連携

【国分寺東小】

